

高度な再生療法に加え かみ合わせの回復も見据えた 歯周病治療を提供



マイクロスコープで細部まで確認し、
緻密な治療を心がける



歯周病の外科治療やインプラント治療は専用の手術室で行う



東急東横線妙蓮寺駅より徒歩1分の立地にある

歯周病のリスクを 診断して計画を立案

さかきばら歯科の榊原毅院長は歯周病に対し、「予防」「治療」「咬合の回復」「メンテナンス」という4つの柱で治療に取り組んでいる。その軸として、専用の診断ソフトを導入し、唾液検査やX線検査、歯周組織の診断などを通じて科学的に歯周病のリスクを測定する。現状のままでは将来的にどの程度歯を残せるか、歯周病がどう進行していくのか患者さんにお伝えした上で、それを防ぐために必要な治療をお話します」と榊原院長。

「治療は、日本歯周病学会のガイドラインに基づき、症状にあわせて進めていく。軽症の場合には歯ブラシの指導や、汚れ、歯石の除去などで、炎症の原因を取り除いて症状の改善を目指す。歯と歯ぐきの隙間の奥深くまで歯石が溜り込み、炎症を起こしているような重症例の治療を積極的に行う。受け入れているのも患者にとっては頼れる点だろう。外科的なアプローチによって奥深くの病変を取り除くだけでなく、歯周病で骨が破壊されているケースにおいても、再生療法であるエムドゲイン手術や、歯肉の移植などによって組織の再生を目指すことが可能だ。」

精密な補綴物で 咬合の回復を目指す

「進行した歯周病では、症状を改善させても、『既に脱落している歯がある』『歯がある程度動揺している』などで、かみ合わせが不安定になっていきます。ただ病変を取り除くだけでなく、きちんとかめるようにならないければなりません」として、義歯や被せ物、インプラント治療のような補綴治療による咬合の回復に力を入れている。それによって残っている歯の負担を減らすこともまた、歯周病の再発予防のためには重要といえる。正しい補綴物の作製には歯科技工士の技術も求められることから、国内でさまざまな賞を受賞し、アメリカで開業していた実績のある歯科技工士と提携。治療計画時から綿密に打ち合わせ、噛み合わせを損ねないような治療の進め方を考えていく。



院長 榊原 毅

さかきばら・たけし ● 東京医科歯科大学歯学部卒業、ハーバード大学インプラントコース修了(AWARD受賞)。ニューヨーク大学歯学部インプラント科CDEコース在籍・修了。御茶ノ水杏芸ビル歯科副院長などを経て同院を開院。東京医科歯科大学歯周病教室、鶴見大学インプラント科に在籍。東京医科歯科大学臨床研修指導医として研修医の指導にも携わる。

治療後も定期的なメンテナンスを通じ、長期にわたる歯の維持を目指していくという。歯周病は糖尿病や高血圧などと同じ生活習慣病であると言えます。普段の正しいケアや、歯科医院での定期的なメンテナンスの重要性を地域の方に知っていただきたいですね」と、定期的な説明会を通じて情報提供にも積極的だ。榊原院長は「地域住民の幸せな人生の手伝いをすること」を理念として掲げ、最善を尽くしている。



リスク診断の結果を患者に渡し、さまざまな形で説明していく

レーザー
CT
GTR
マイク
歯周形成

医療法人社団 港央会
さかきばら歯科

診療時間：9:30～13:00 / 14:30～18:00
休診日：日・祝
〒222-0023
神奈川県横浜市港北区仲手原2-43-33
TEL.045-431-0550
<http://www.d-sakaki.com/>

取材／鈴木健太

*インプラント治療とエムドゲイン手術は保険適用外。インプラント治療の基本料金は31万円と41万7400円の2種、エムドゲイン手術が11万円